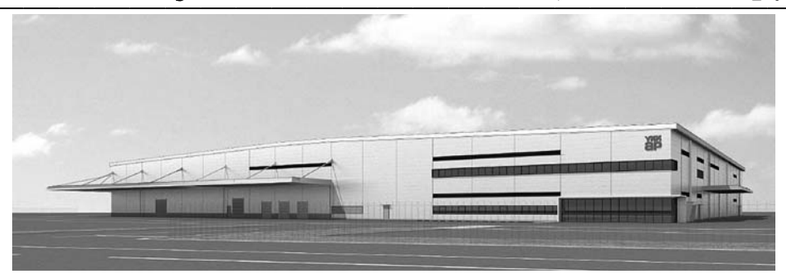
埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161　FAX 048・653・9040
✉keizai@saitama-np.co.jp

YKK AP 美里に新工場
シェア拡大へ 競争力強化

建材メーカーのYKK AP（東京都千代田区）は17日、美里町にある「YKK AP埼玉工場」の規模拡張のため、隣接した新たな工場を建設することを発表した。敷地面積は4万2686平方㍍。同町南十条に位置する身馴川公園と民間企業が持つ土地を取得した。さいたま市浦和区で会見した同社の堀秀光社長は「新工場稼働によって、埼玉を首都圏だけでなく東日本の製造供給の中核として機能させていきたい」と意気込んだ。（吉谷篤樹）


2023年9月に稼働開始するYKK AP埼玉工場の新工場（YKK AP提供）

新工場は2023年7月に完成、9月の稼働を予定している。投資金額は土地取得と工場建設などで約45億円。製造の自動化工程の拡大や部材の調達から受注、製造手配の過程のデータ共有によって、現在の埼玉工場と比較して1・3倍の生産効率を見込む。生産コストを25%削減するだけでなく、受注から納品までの日数も大幅に短縮することで、より安価で迅速な製品提供を可能にする。

美里町が保有していた身馴川公園の敷地は約1万2千平方㍍。約1億9500万円で同社の取得に応じた。同社によると新工場は断熱性や高効率空調の採用、太陽光発電を行い、二酸化炭素排出量が実質ゼロ。さらに工場敷地内に憩いの場を設置するなど、地域住民の生活にも配慮された設計だという。稼働によって約40人の新規雇用を見込む。

同社は現在同町と久喜市に製造拠点を持ち、それぞれビル用アルミ建材と住宅建材用の製品を製造している。同社によるとビル用アルミ建材の国内シェアは約4割を占めるが、さらなる拡大へ競争力を強化することが狙い。24年度までにシェア5割を目指す。

「グループ化で成長」
ヤオコー川野社長 業務提携、事業拡大へ

食品スーパーのヤオコー（川越市）の川野澄人社長は17日、2021年度年末会見を開いた。出店地域の重複が少ない同業他社との資本業務提携も含め、事業拡大を進める考えを示した。人口減少や異業態との垣根が下がり事業環境が厳しさを増していることが背景にある。都心から半径20㌔圏の地域を基本に出店は継続しつつ、提携先を増やすことによる「グループ化」で成長速度を上げる。

年末会見で説明する川野澄人社長＝17日午前、川越市

「ヤオコーの出店地域と重複が少ない。生鮮の仕入れや販売が強みで、利用客の支持が高い」として10月、千葉県内で食品スーパーを展開する「せんどう」（千葉県）を持分法適用会社にした。利点を共有し相乗効果を狙うとした上で「一定規模を有し、地域で支持を得るチェーンがあれば、（提携し）グループとして成長するほうが良い」と述べた。ただしスケールメリットは重視しないという。

新型コロナウイルスの影響については「外食回避による内食需要が続き、総菜などが堅調」と説明。一方で「コロナ薬などの開発と普及で、来春ごろから外食需要が回復する可能性もある」とし、早期対応の準備を進める考えを示した。

足元での課題として原材料費の高騰を挙げた。油や小麦の価格上昇の対応が急務とした上で「豊富な商品群を活用しながら、支持を得られる方法を考えていく」と述べた。為替相場の円安基調による輸入品の原価上昇にも対応する必要性があると指摘した。

業務面ではデジタルトランスフォーメーション（DX）推進へ、一部で進める人工知能（AI）を活用した自動発注システムを、来期以降に全店舗へ拡大させる方針を説明。販売好機ロスの回避、在庫の削減をさらに進める。（小林哲伸）

市内19カ所で移動スーパー
自岡市とカスミ、来月から

白岡市とスーパーのカスミは来年1月10日から、市内19カ所で買い物支援のため移動スーパーを開始する。16日、同市役所駐車場で出発式が行われ、車両のお披露目や販売のデモンストレーションが行われた。

市とカスミは7月に包括連携協定を締結。市街地から離れ、高齢者らが買い物に不便な地域を中心に、移動販売を開始する。カスミが移動スーパーを実施し、集会所駐車場などが販売場所になる。

出発式でお披露目された移動スーパーを見学する関係者＝16日午前、白岡市役所

出発式では実際に商品を載せた移動スーパーが登場。約650品目を載せ、クレジットカードでの決済も可能だという。デモンストレーションでは、市職員や地域住民が商品を購入し、移動スーパーを体験した。

藤井栄一郎市長は「自宅の近くで商品を手に取って買い物を楽しむことができる。地域の皆さんの買い物のお手伝いになるよう発展させたい」、カスミビジネス変革本部SDGs推進マネージャーの伊神里美執行役員は「高齢化が問題になる中、地域のコミュニティーをつくり、皆さんの生活に寄り添う営業活動ができれば」とあいさつした。（保坂直人）

銀日 コロナ支援縮小へ
大企業の社債購入減額

日銀は17日に開いた金融政策決定会合で、新型コロナウイルス感染拡大の影響で打撃を受けた企業向けの資金繰り支援策の縮小を決めた。資金調達環境が改善しているため、大企業が発行する社債などを日銀が購入する額を来年4月以降はコロナ禍前の水準に戻す。資金繰りに厳しさが残る中小企業向けの支援は、期限を来年3月末から来年9月末まで半年間延長する。長期の金利操作を柱とする大規模な金融緩和策は維持した。

日銀は、景気について「引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している」との判断を据え置いた。先行きは、新型コロナ感染症の影響が和らげば「回復していく」との見通しを維持した。

日銀の支援策は、資金繰りに行き詰まって企業が事業を継続できなくなることを防ぐための緊急措置。中小企業の資金繰りを支える民間金融機関に対し、原資となる資金を有利な条件で供給しているほか、大企業が資金調達のために発行する社債やコマーシャルペーパー（CP）を計約20兆円を上限に買い入れている。このうち大企業向けは、購入残高をコロナ禍前の水準である約5兆円に戻す。

会合では、新変異株「オミクロン株」の動向や、世界的な資源高などが物価に与える影響を確認した。

部品不足続き 5カ月連続減
11月県内新車登録

県自動車販売店協会がまとめた11月の県内新車登録台数（軽自動車含む）は前年同月比13・3%減の1万8936台だった。半導体や部品の不足に伴う減産が響き、5カ月連続で前年を割れたが、下げ幅は前月より縮小した。

分野別では乗用車が14・3%減の1万2113台。うち普通車は20・0%減の6062台、小型車は6・7%減の4233台だった。車種別では、トヨタ自動車の「ルーミー」「ヤリス」「カローラ」などが人気だった。

軽自動車は11・5%減の6823台。ホンダの「N－BOX」、ダイハツの「タント」、スズキの「スペーシア」などが上位を占めた。

同協会は「9月から減産の影響が続いているが、各メーカーは減産態勢を緩和しつつある」と指摘。「前年比のマイナス幅は縮小し、生産と販売台数の回復に期待感が出始めているが、正常化にはもう少し時間がかかるのではないか」とした。（小林哲伸）

城西大学発 研究の現場から ■12■

橋本 雅司 理学部化学科 准教授
実現するSFの世界

「助けて、オビ＝ワン・ケノービ。あなただけが頼りです。」これは、1977年に公開された映画スターウォーズの中で、3D映像で投影されたレイア姫が救援メッセージを伝える場面の台詞（せりふ）です。この映画が公開されたころ、テレビは重く奥行きの長いブラウン管、電話は回転ダイヤル式の黒電話が主流でした。SF（Science Fiction）の世界には、その時点で実現できていない夢の技術が数多く登場します。私を含め、SF映画に登場するそれらの技術に興奮した子ども達がたくさんいたことでしょう。当時の子ども達が技術者として活躍する年頃になった今、あの頃の夢の技術が次々に実現しています。

当時の主流であったブラウン管は、画面の大きさに比例して、ディスプレイの奥行きが長く、とても重いものでした。ブラウン管テレビは、その形状から部屋の角に置くのが常識で、壁掛けテレビは夢の技術のひとつでした。その夢の技術を実現可能としたのが、ブラウン管の奥行きを短くし、圧倒的な軽量化に成功した液晶ディスプレイです。

「液晶」とは気体・液体・固体（結晶）などの物質の状態を指す言葉で、結晶の持つ分子が並ぶ性質と、液体の持つ形を変えて流れる性質の両方を持つ状態であるため、結晶と液体からそれぞれの一文字ずつをとり「液晶」と呼ばれています。液晶ディスプレイは、液晶分子の配列をコントロールすることで、画面の裏側に設置されている照明（バックライト）から透過する光の量を調節し画面に映像を映し出しています。バックライトを除いたディスプレイの厚みは数㍉しかなく、画面の大きさをどれだけ大きくしても、その厚みは変わらないため、大画面で薄型・軽量のディスプレイを実現することができたのです。

ここ数年「有機EL」というさらに新しい仕組みのディスプレイを搭載したテレビやスマートフォンを見る機会が増えてきました。有機ELは、赤、青、緑に発光する有機分子を使ったディスプレイです。有機ELでは薄膜にした有機材料自体が発光するので、液晶ディスプレイに必要だったバックライトさえ不要になります。そのため、紙のように薄く、折り曲げることも可能なのです。近頃ではディスプレイを折りたためるスマートフォンが市販されはじめていますが、有機ELならではの製品であり、さらなる技術の進化が感じられます。

3D映像の技術も飛躍的な進歩を遂げ、冒頭のスターウォーズの場面のように、スクリーンも何もない空中に3D映像を映しだす技術が実現しています。この技術は、空中に浮き上がる非接触のスイッチとして利用することができるため、コロナ禍の今、注目を集める技術となっています。今回はディスプレイに着目しましたが、SF世界の技術は次々と実現され、宇宙旅行も現実のものとなりつつあります。10年後20年後の未来はどうなっているのか？私の研究と教育の成果で世の中を変えることができているのか？そう考えると将来が楽しみで仕方なくなります。

はしもと・まさし　1975年生まれ。2003年九州大学大学院総合院工学府物質工学専攻修了。博士（工学）。キヤノン株式会社先端研究所を経て2012年城西大学理学部化学科准教授。専門分野は有機機能材料。

米個人消費支出に注目
むさしの眼 週間株式展望

来週（20～24日）の日経平均（225種）は底堅い展開を想定する。

今週の日経平均は小幅上昇。注目の米連邦公開市場委員会（FOMC）において決定された量的金融緩和の縮小等の内容がほぼ市場予想の範囲内だったことを好感し大幅高となり、2万9000円台を回復した。週末は、米国株安や日銀の新型コロナ禍に対応した資金繰り支援策の縮小を嫌気し大幅安となり、週間では0・4%の小幅上昇となった。

来週は23日に11月の米個人消費支出デフレーターが発表される。この指数は米連邦準備理事会（FRB）が最も重視する物価指標だ。米国ハイテク株がインフレ抑制による金融政策を巡って乱高下しているだけに足元のインフレを確認するためにも同指標に注目する。

今年の株式市場もあと2週間となり、日米欧の金融政策会合などの主要イベントが終了した。来週は多くの海外投資家がクリスマス休暇に入るため市場参加者が少なくなる。そのため積極的な売買は控えられるだろう。ただ日本株の割安感や株価の出遅れなどから大幅な株価調整はないとみる。来週の日経平均は底堅い展開となるだろう。

（むさし証券ストラテジスト・齋藤健治）

TOKYO MARKET REPORT

●株式

◆東証反落、520円安　金利上昇に警戒感　17日の東京株式市場の日経平均株価（225種）は大幅反落した。終値は前日比520円64銭安の2万8545円68銭。米国の金融政策の正常化が意識され、長期金利上昇への警戒感から売り注文が優勢だった。

東証株価指数（TOPIX）は28.61㌽安の1984.47。出来高は約14億4000万株。

前日の米株式市場では、金利上昇時に割高感が出やすいハイテク株が売られた。東京市場でもこの流れを引き継ぎ、朝方から半導体関連銘柄を中心に売られた。英国が前日にインフレ抑制のため利上げを決定するなど、欧州での金利上昇に対する懸念も重荷になった。

日銀が17日昼に金融政策決定会合の内容を公表し、新型コロナウイルス対策の企業向け資金繰り支援策の縮小を決めたことが伝わると、下げ幅が拡大した。市場関係者は「日本でも金融政策の正常化が連想され、一部で投機的な売りが出たようだ」。

●外為

◆東京円、113円台後半　17日の東京外国為替市場の円相場は1㌦＝113円台後半で取引された。

午後5時現在は前日比46銭円高ドル安の1㌦＝113円65～67銭。ユーロは40銭円高ユーロ安の1㌧＝128円62～66銭。

前日の米株式相場の下落を受け、ドルを売って相対的に安全資産とされる円を買う取引が先行した。米国が新疆ウイグル自治区での人権侵害を巡って中国企業への制裁を強化したことも、リスク回避の円買いを促した。

市場では「米中関係の先行きに投資家が警戒感を強め、市場のムードが悪化している」（外為ブローカー）との指摘があった。

東京市場（17日）

◆円相場（午後5時）銀行間
対ドル　113.65－113.67円（0.46円高）
対ユーロ　128.62－128.66円（0.40円高）

◆株式（終値）
日経平均　2万8545.68円（520.64円安）
TOPIX　1984.47（28.61㌽安）

◆長期金利（新発10年国債）
0.045%（+0.005）

◆短期金利（無担保コール翌日物）
−0.028%

かぶと町だより

▽中外薬が大幅安。新型コロナウイルスの患者を対象とした飲み薬候補の開発を中止すると前日に発表したことが嫌気された。親会社のスイス製薬大手ロシュが開発を巡り、米バイオ医薬品会社と提携を解消したことを受けた措置だという。

◆金貨売買相場◆

	出来値	前日比
メイプル（1オンス）		
小売価格	2407.44円	△1452
買取価格	2187.84円	△1339
ウイーン（1／10オンス）		
小売価格	2598.5円	△156
買取価格	2171.8円	△133

商況

東京市況（大田／東一調べ）＝単位：円

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	648	540
ニンジン（千・10㌔）	1080	1080
ゴボウ（青・4㌔）	2700	—
レンコン（茨・4㌔）	3024	2484
ハクサイ（茨・15㌔）	864	432
キャベツ（千・10㌔）	648	648
ホウレン草（群・0.2㌔）	130	76
ネギ（千・5㌔）	1944	1944
セロリ（静・10㌔）	3024	1944
レタス（兵庫・10㌔）	3024	2160
キュウリ（埼・5㌔）	2160	1620
ナス（高・5㌔）	2886	2484
トマト（熊本・4㌔）	—	1944
ピーマン（茨・0.15㌔）	54	43
サヤエンドウ（鹿・1㌔）	1728	—
サツマイモ（千・5㌔）	2160	—
ジャガイモ（北・10㌔）	2700	2376
サトイモ（埼・10㌔）	—	3240
ナガイモ（青・10㌔）	—	3672
タマネギ（北・20㌔）	4644	4320
生シイタケ（岩・0.1㌔）	119	—
エノキタケ（長野・0.1㌔）	59	36
カブ（千・1㌔）	130	108
ミズナ（茨・0.2㌔）	76	54
コマツナ（埼・0.5㌔）	76	65
小ネギ（福岡・0.1㌔）	130	108
シュンギク（千・0.15㌔）	97	76
ニラ（栃・0.1㌔）	—	108
カリフラワー（埼・6㌔）	2376	1944
ブロッコリー（愛知・8㌔）	2527	2333
ミニトマト（熊本・3㌔）	1404	—
ニンニク（青・1㌔）	2376	2052
根ショウガ（高・4㌔）	3672	—
ナメコ（福島・0.1㌔）	54	22
シメジ（長野・0.1㌔）	65	65
マイタケ（新潟・0.1㌔）	130	76

枝肉【東京】（1㌔＝円）急落

和牛 メス	去勢	交雑種 メス	去勢
A5 2938	A5 2617	A5 —	A5 2126
A4 2467	A4 2527	A4 1582	A4 1901
A3 2287	A3 2371	A3 1525	A3 1661
A2 —	A2 1996	A2 1407	A2 1474
A1 —	A1 —	A1 —	A1 —
B5 2532	B5 2420	B5 —	B5 —
B4 2231	B4 2307	B4 1436	B4 1728
B3 2067	B3 2188	B3 1407	B3 1569
B2 —	B2 —	B2 1298	B2 1455
B1 —	B1 —	B1 —	B1 —

	高値	安値	加重平均
豚 極上	583	562	571
上	846	540	562
中	825	518	554
並	765	346	531
等外	562	271	418
	牛	豚	
上場頭数	430頭	996頭	

【さいたま】（単位㌔当たり）

		反落 高値	安値	加重平均
豚	極上	572	572	572
	上	607	553	572
	中	594	486	564
	並	576	378	503
	等外	477	378	414
牛				
馬				

	豚	牛	馬
上場頭数	282	—	—
処理頭数		—	—
預り頭数		—	—

【川口】　受信なし

	高値	安値	加重平均	処理頭数
豚 極上	—	—	—	—
上	—	—	—	—
中	—	—	—	—
並	—	—	—	—
等外	—	—	—	—
上場	—	処理		—

生花（㈱埼玉園芸市場調べ）

	高値	中値
白大菊	125	75
黄大菊	95	65
スプレイ菊	88	55
小菊	53	40
赤カーネーション	65	40
ピンクカーネーション	65	45
スプレイカーネーション	65	45
赤バラ	220	120
ピンクバラ	200	90
白バラ	150	100
スプレイバラ	220	120
テッポウユリ	120	110
スカシユリ	130	75
オリエンタル系ユリ	700	230
カトレア	350	250
デンファレ	70	60
シンビジューム	800	—
トルコ桔梗	320	170
サンダーソニア	—	—
グラジオラス	—	—
カラー	120	100
アルストロ	170	130
スターチス	100	70
スターチスHB	—	—
ガーベラ	130	45
デルフィニウム	170	130
グロリオサ	—	—
宿根カスミソウ	180	120
ソリダコ・ソリダスター	—	—

鶏卵（1㌔＝円）

		高値	安値
【全農】			
	LL	229	203
	L	230	204
	M	230	204
もちあい	MS	225	199
	S	199	173
	SS	149	123
【入間】		280	
【東洋】		高値	安値
	LL	229	202
	L	229	201
	M	229	201
もちあい	MS	226	198
	S	199	173
	SS	148	122
	特殊	233	91

川口青果市場つま物市況（川口中央青果市場調べ）

	高値	中値
キノメ（埼・1箱）	864	—
ぼうふう（埼・1束）	—	—
アサツキ（埼・1箱）	—	—
わけねぎ（埼・30束）	3240	2160
メカブ（埼・1箱）	—	—
ヤツガシラ（埼・10㌔）	5400	4320

浦和市況（浦和中央青果・巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ピーマン（茨・4㌔）	—	1296
トマト（熊・4㌔）	—	2592
ネギ（埼・5㌔）	—	1512
ナス（高・5㌔）	—	2376
キャベツ（千・10㌔）	—	594
タマネギ（北・20㌔）	—	4644
パレイショ（北・10㌔）	—	2700
カブ（千・1㌔）	—	119
ニンジン（千・10㌔）	—	1080
レタス（茨・10㌔）	1620	—
ホウレン草（埼・0.3㌔）	97	—
ニラ（茨・0.1㌔）	86	—
コマツナ（埼・0.2㌔）	65	—
チンゲンサイ（茨・2㌔）	756	—
カンショ（茨・5㌔）	1836	—
生シイタケ（島・0.1㌔）	162	130
エノキタケ（新潟・0.2㌔）	65	54
シメジ（長野・0.1㌔）	76	—
キュウリ（埼・5㌔）	—	1620
ハクサイ（長野・15㌔）	735	—
◇果実◇		
リンゴ（青・10㌔サンふじ）	—	5400
ミカン（媛・10㌔）	—	3564
メロン（熊・4㌔アールス）	—	—
パナナ（フィリピン・13㌔）	3672	—

熊谷市況（熊谷青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10㌔）	—	648
ニンジン（埼・10㌔）	1404	1080
ゴボウ（青・4㌔）	—	—
ハクサイ（茨・15㌔）	756	—
ミズナ（埼・0.2㌔）	130	108
キャベツ（神・10㌔）	864	648
ホウレン草（埼・0.2㌔）	108	—
ネギ（埼・5㌔）	—	1620
ニラ（栃・0.1㌔）	—	108
レタス（熊・10㌔）	2700	—
キュウリ（宮崎・5㌔）	2376	1620
ナス（高・0.4㌔）	194	—
トマト（熊・4㌔）	—	1944
ピーマン（茨・0.15㌔）	—	54
カンショ（茨・5㌔）	1728	1620
パレイショ（北・10㌔）	—	2700
サトイモ（埼・10㌔）	4860	3780
タマネギ（北・20㌔）	—	4644
生シイタケ（各地・0.1㌔）	151	140
エノキタケ（各地・0.2㌔）	76	65
◇果実◇		
ミカン（和・10㌔）	—	3240
リンゴ（長野・10㌔サンふじ）	—	5940
イチゴ（栃・0.3㌔とちおとめ）	756	648
パナナ（フィリピン・13㌔）	—	2700

上尾市況（埼玉中央青果・巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	756	—
ニンジン（埼・10㌔）	1620	—
ゴボウ（青・4㌔）	1080	—
ネギ（埼・5㌔）	1836	—
ニラ（栃・0.1㌔）	130	—
キュウリ（埼・5㌔）	2376	—
ナス（高・5㌔）	2700	—
トマト（愛知・4㌔）	2160	—
ピーマン（茨・0.15㌔）	86	—
カンショ（茨・5㌔）	2160	—
ヤマトイモ（千・4㌔）	2376	—
パレイショ（北・10㌔）	2592	—
タマネギ（北・20㌔）	4644	4320
生シイタケ（埼・0.1㌔）	140	—
エノキタケ（長野・0.1㌔）	54	—
レタス（静・10㌔）	2700	—
コマツナ（埼・0.3㌔）	—	—
ホウレン草（群・0.3㌔）	—	—
ハクサイ（茨・15㌔）	648	—
ミズナ（茨・0.2㌔）	—	—
◇果実◇		
メロン（静・8㌔アールス）	—	—
リンゴ（青・10㌔ふじ）	—	—
バナナ（フィリピン・12㌔）	—	—
グレープF（アメリカ・17㌔）	—	—

大宮市況（大宮中央青果・巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	—	540
カブ（埼・1㌔）	—	108
レンコン（茨・4㌔）	—	2484
ハクサイ（茨・13㌔）	—	432
コマツナ（埼・0.2㌔）	—	65
キャベツ（愛知・10㌔）	—	648
ホウレン草（群・0.2㌔）	—	130
ネギ（埼・5㌔）	—	1728
ニラ（茨・4㌔）	—	3456
チンゲンサイ（群・3㌔）	—	756
キュウリ（埼・5㌔）	—	1836
トマト（熊・4㌔）	—	—
ピーマン（宮崎・4㌔）	—	—
パレイショ（北・10㌔）	—	2700
タマネギ（北・20㌔）	—	4644
生シイタケ（秋・0.1㌔）	167	—
ナメコ（形・0.1㌔）	—	59
エノキタケ（長野・0.2㌔）	—	54
シメジ（長野・0.1㌔）	—	54
マイタケ（新潟・0.1㌔）	—	103
◇果実◇		
早生ミカン（長崎・10㌔）	—	—
グレープF（南アフリカ・17㌔）	—	—
キンカン（宮崎・0.3㌔）	—	—
バナナ（フィリピン・13㌔）	—	3780

春日部市況（さいたま春日部市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	—	486
カブ（千・0.8㌔）	108	—
ニンジン（千・10㌔）	1728	1296
レンコン（茨・4㌔）	—	—
ハクサイ（茨・13㌔）	—	216
コマツナ（埼・0.2㌔）	108	—
キャベツ（茨・10㌔）	864	—
ホウレン草（埼・0.2㌔）	194	—
ネギ（群・5㌔）	1728	1512
シュンギク（埼・0.15㌔）	108	—
ニラ（茨・0.1㌔）	—	—
ブロッコリー（埼・8㌔）	2592	2376
キュウリ（埼・5㌔）	1728	—
ナス（高・5㌔）	2268	—
トマト（熊・4㌔）	1944	—
ピーマン（宮崎・0.13㌔）	65	—
サツマイモ（茨・5㌔）	—	—
パレイショ（北・10㌔）	—	—
タマネギ（北・20㌔）	—	—
エノキタケ（長野・0.2㌔）	59	—
◇果実◇		
ミカン（媛・10㌔）	3024	2484
イチゴ（栃・0.28㌔とちおとめ）	594	—
リンゴ（青・10㌔王林）	6264	5400
バナナ（フィリピン・13㌔）	3024	—

川口市況（川口中央青果・巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	648	—
カブ（千・0.8㌔）	—	140
ニンジン（千・10㌔）	—	1512
ハクサイ（茨・12㌔）	—	540
コマツナ（埼・0.2㌔）	—	27
ネギ（各地・5㌔）	—	1404
キャベツ（愛知・10㌔）	—	756
ニラ（各地・0.1㌔）	—	108
ホウレン草（埼・0.35㌔）	—	65
レタス（各地・8㌔）	2160	1296
ピーマン（各地・0.15㌔）	—	75
キュウリ（埼・5㌔）	—	1836
ナス（高・0.35㌔）	—	205
トマト（福島・4㌔）	1836	1728
ブロッコリー（各地・4㌔）	—	1404
カンショ（千・5㌔）	—	2160
タマネギ（北・20㌔）	—	4968
パレイショ（北・10㌔）	—	2700
エノキタケ（各地・0.2㌔）	—	65
生シイタケ（各地・0.1㌔）	172	140
◇果実◇		
ミカン（媛・10㌔）	4104	3564
リンゴ（各地・10㌔ふじ）	5940	3456
イチゴ（各地・0.28㌔紅ほっぺ）	594	518
バナナ（フィリピン・12㌔）	3996	3024

川越市況（東京新宿べ・JA川越調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	—	702
ニンジン（各地・10㌔）	1188	972
ハクサイ（茨・13㌔）	540	—
キャベツ（各地・10㌔）	756	615
コマツナ（埼・0.3㌔）	—	97
ホウレン草（埼・0.3㌔）	86	81
ネギ（各地・5㌔）	1944	1566
ブロッコリー（各地・4㌔）	1620	1350
レタス（各地・10㌔）	2484	2376
チンゲンサイ（各地・0.2㌔）	65	63
キュウリ（各地・5㌔）	1836	1512
ナス（高・5㌔）	2700	—
トマト（各地・4㌔）	1944	1728
ピーマン（各地・0.15㌔）	76	56
パレイショ（北・10㌔）	2916	2538
サトイモ（埼・10㌔）	—	—
タマネギ（北・20㌔）	4860	4212
生シイタケ（各地・0.1㌔）	184	—
◇果実◇		
ミカン（各地・10㌔）	4536	3456
リンゴ（各地・10㌔サンふじ）	5940	3834
ナシ（埼・5㌔）	—	—
イチゴ（埼・0.28㌔とちおとめ）	864	594
バナナ（フィリピン・13㌔）	3780	2970
キウイ（各地・3.5㌔）	3456	—

秩父市況（秩父総合食品卸売市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10㌔）	1080	—
ニンジン（埼・10㌔）	—	—
ゴボウ（青・4㌔）	1080	—
レンコン（茨・4㌔）	2700	—
ハクサイ（茨・15㌔）	1080	—
キャベツ（愛知・10㌔）	—	—
ホウレン草（群・0.2㌔）	140	—
ネギ（形・5㌔）	—	—
レタス（茨・10㌔）	—	—
チンゲンサイ（静・2㌔）	97	—
キュウリ（宮崎・5㌔）	—	—
ナス（高・0.4㌔）	237	—
トマト（熊・4㌔）	—	—
ピーマン（茨・0.15㌔）	97	—
カンショ（千・5㌔）	—	—
パレイショ（北・10㌔）	3132	—
タマネギ（北・20㌔）	—	—
生シイタケ（各地・0.1㌔）	130	—
エノキタケ（長野・0.2㌔）	—	—
◇果実◇		
ミカン（和・10㌔）	3564	—
リンゴ（青・10㌔サンふじ）	5184	—
イチゴ（埼・0.3㌔とちおとめ）	810	648
パナナ（フィリピン・13㌔）	2912	—
パイナップル（フィリピン・12㌔）	2912	—